

報告事項 1 令和5年度事業計画

令和5年度事業計画

1. 自然環境復元協会の理念

外なる自然の復元と内なる自然の回復

2. ミッション

身近な自然環境を復元すること。

自然体験を通じた豊かな感性と人間力溢れるヒトが育つ場を提供すること。

3. 事業計画

(1) 環境教育及び環境人材の育成に係る活動

①環境再生医（資格認定講習）

中長期計画（3年後/2021年度スタート～2024年度ゴール）	
取組内容	目標数値
資格認定講習の開催数増加	年3回開催（NAREC2回+外部1回）
資格認定講習の受講者数増加	120人/年（NAREC100人+外部20人）
資格認定講習の受講者満足度維持	100%（アンケート結果）
継続学習企画（一般資格取得者向け）の開催	毎月定期開催
環境保全学習企画（非取得者向け）の実施と収益化	¥30万/年（30人×年¥1万）
交流会の開催	年2回開催（オンライン1回・対面1回）

R5年度方針
<ul style="list-style-type: none">・新事務局体制での資格認定講習運営の効率化。・資格認定講習の試験内容と合否審査方法の見直し。・取得後の活性化と資格取得メリット拡大のため、一般講習取得者向けの企画（勉強会等）を実施する。

R5年度計画（目標数値）
■資格認定講習 <ul style="list-style-type: none">・開催数：1回・受講者数：80人（2022年度実績116人-36人）・開催時期：1～2月・受講者満足度：100%（アンケート）・内容：前年度をベースに改善・形式：オンライン・運営：効率化および事務局体制の整備（新スタッフへの共有等）
■継続学習 <ul style="list-style-type: none">・一般取得者向け：1企画

報告事項 1 令和5年度事業計画

②認定校

中長期計画（3年後/2021年度スタート～2024年度ゴール）

取組内容	目標数値
認定校での取得者数増加	500人/年
認定校との関係維持	50校（2020年度実績35校）
新規の認定校数の増加	毎年3校（学部含む）
継続学習企画（認定校資格取得者向け）の実施	毎月定期開催
取得者数増加企画（学生直アプローチ）の実施	2企画

R5年度方針

- ・認定申請対応の効率化および事務局体制の整備（新体制での安定化）
- ・認定校取得者層が活性化する企画（勉強会等）を実施する。
- ・認定校との個別連携強化につながる企画（ガイダンス等）を実施する。
- ・認定校との連携強化（関係維持・回復、新規獲得など）につながる企画（勉強会等）を検討する。
- ・認定校（&非認定校含め）の学生に直にコンタクトできる関係作り企画（大学や先生経由ではなく）を検討する。

R5年度計画（目標数値）

■認定者数

- ・240名（昨年実績298人）

■認定校

- ・関係継続：37校（昨年実績同様）
- ・関係回復：1校
- ・新規：発生ベース
- ・連携強化：1企画試行（例：認定校学生×若手再生医）

■認定校取得者活性化

- ・試行：1企画（例：勉強会など）

報告事項 1 令和5年度事業計画

③質の向上

中長期計画（3年後/2021年度スタート～2024年度ゴール）	
取組内容	目標数値
社会認知度の向上	2番目（INTの環境資格リストの「非環境分野でも取得可能資格」の中で2番目以内。イメージはEco検定の次あたり）
認定校受託案件の増加	5件
中間支援案件（環境再生医取得者の活動支援につながる案件等）の増加	5件

R5年度方針

- ・認定校受託案件や中間支援案件につながる情報収集（認定校実習等実施状況不明のため）。
- ・公式テキスト（第4版）のR6年度出版を進める。

R5年度計画（目標数値）

- 認定校からの実習や特別授業などの有償案件を受託する（目標数値の設定はなし。発生ベースで対応する）
- 再生医×企業、再生医×助成金、再生医×認定校、再生医×再生医などのマッチング案件等を模索する（目標数値の設定はなし。発生ベースで対応する）
- テキスト
第4版出版作業を進める。出版はR6年度（R7年3月末）※R7年度4月より活用を目標

④管理（更新・再登録）

中長期計画（3年後/2021年度スタート～2024年度ゴール）	
取組内容	目標数値
更新率の増加	70%

R5年度方針

- ・R5（2023）年度対象者については前年度同等の取組を行う。
- ・運営の効率化および事務局体制の整備（新スタッフへの作業共有等）を行う。
- ・更新率向上企画（継続学習、資金確保、人材確保、有償案件紹介等）を試行する。

R5年度計画（目標数値）

- 更新率（対象者数124人）
70%以上（更新者数87人）
- 運営
効率化および事務局体制の整備（新スタッフへの共有等）
- 更新率向上企画
更新メリットにつながる企画（継続学習、資金確保、人材確保、有償案件紹介等）を試行（目標数値の設定はなし。発生ベースで対応する）

(2) 身近な自然環境の保全・復元・維持管理に係る活動

中長期計画 (3年後)

取組内容	目標数値
参加機会の増加	年間活動回数を 70 回以上に増加し、新規フィールドを 10 箇所増加する。
リーダーの育成強化	各活動エリア (都府県) に 4 名以上のリーダー・サブリーダーが登録・実働している。
助成金以外での運営資金の確保	企業の協賛・受託事業等から年間合計 300 万円以上の資金確保をする。その内、60%以上は継続で協賛・受託を受けている状態にする。
プロジェクト運営強化	各活動エリア (都府県) のリーダーやコアメンバーの内、1 名以上が運営へ参加する体制を作る。

R5 年度方針

- ・ R3～4 年度は、年間 50 回を目標に活動し、各年 40 回程実施した。
- ・ 新規フィールドは、R3 年度は 5 箇所、R4 年は 2 箇所増加した。
- ・ R4 年度は、新規リーダーを 3 名登用した。
- ・ 定員オーバーにより参加できない人も多いため、更なる実施回数と活動場所の増加、リーダー育成を図り、参加機会を創出する。
- ・ 資金調達では、継続的な資金獲得を目指す。
- ・ その他、参加者のターゲット層 (若い世代) への訴求や企業協賛獲得に向け、レンジャーズプロジェクトのホームページのリニューアル作業等を行う。

R5 年度計画

レンジャーズプロジェクト 60 回 (8 月は休止)

■リーダーの育成

令和 4 年度に新規リーダーになった方に向けて、オンラインまたは対面にて、リーダー説明会や講習会を開催する。

■資金調達

企業協賛、寄附、受託事業等で合計 300 万円の資金獲得を目指す。

■新規フィールドの増加

関東地方、関西地方で合計 3 箇所以上の新規フィールド増加を目指す。

■広報の強化

広報担当者と連携し、レンジャーズプロジェクトのホームページリニューアル作業を引き続き行う。

■SDG s の具現化

具体的な数値目標を設定し具体的な取り組みを始める。

■業務の簡易化

業務の簡易化を図り、ボランティアやインターンでもできる業務内容にする。

■他事業との連携

ふるさと未来創造プロジェクトや環境再生医と連携した活動を引き続き行う。

(3) 農山漁村の活性化及び環境保全型農林業に係る活動

中長期計画 (3年後)

取組内容	目標数値
<p>■グリーンツーリズム事業化支援</p> <p>農林水産省「農山漁村振興交付金」等を活用し、農村内での支えあいを創出するようなグリーンツーリズム事業化伴走支援を複数個所で行う。</p> <p>また、グリーンツーリズム事業化への強い意志をもった人を見つけるための学習会を開催する。</p>	<p>(定性目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地キーマンの意欲の向上へ寄与している状態 ・ 関係人口の増加へ寄与している状態 <p>(定量目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6か所
<p>■環境人材育成合宿の試行・学習</p> <p>都市と農村の支えあいを創出するよう、地域の自然・人・生活・生業を知り、交流を深めて次へのアクションを考える学生向けの学習会を開催する。</p> <p>なお、(環境再生医の認定試験での告知など) 環境教育委員会と連携し、環境再生医の認定試験での告知など認定校制度との相乗効果も狙う。</p>	<p>(定性目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6地区でインタープリターが育成されている <p>(定量目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏1回、冬1回開催

R5年度方針

農山漁村では生物多様性の第2の危機である人間活動のインパクトの減少によって里地里山の動植物が絶滅の危機にさらされている。

この要因の一つとして、農山漁村の自然環境を保全している環境保全型農林漁業者が営みを継続できないことから事業の撤退や縮小が挙げられる。環境保全型農林漁業者へグリーンツーリズムの事業化伴走支援を行うことで持続性を確保したい。

また、グリーンツーリズムの事業化伴走支援を通して繋がりができた地域において、自然体験・原体験の機会を若者へ提供することで、地方や自然環境に関わる価値感の向上へ寄与する。このため、観光ガイド本には載っていないような、地域の人と触れ合い、地域のものを食べ、地域の自然に触れ、Next Action を含めた教育要素を備えた環境人材育成合宿の試行を行う。

R5年度計画

- グリーンツーリズム事業化支援
 - ・ 農林水産省「農山漁村振興交付金」にて1協議会より受託する。
- 環境系学生未来塾のモデル化
 - ・ 内閣府 関係人口創出モデル事業に応募する。
 - ・ 知床にて9月、山梨県清里にて2月に新規地域で開催する。
 - ・ 泰阜村にて9月、耶馬溪にて2月(仮)で継続的に開催する。
 - ・ 環境系学生未来塾のブランディングを行う。
 - ・ 環境再生医、レンジャーズとの連携・相乗効果について検討する。
 - ・ 10月に屋久島にて、環境再生医(とそれに準ずる社会人)向けの未来塾を実施する

(4) 社会啓発や情報発信等に係る活動

中長期計画（2年後） 【平成3年度から継続】

取組内容	目標数値
会員サービスとして情報共有の場をつくる	ニュースレターを紙媒体から HP 上に移行。会員ページを作成し、会員の情報共有の場として活用する
ニュースレターの経費削減	年3回分の印刷・発送費0円（6万×3回）→HP改訂費、PR ツール増等に充てる
ニュースレターのPR ツール化	年次報告書のみ年間活動報告書として作成、協会のPR ツールとしてわかりやすく見やすい内容への変更を検討する
関連学会との連携	関連学会との交流により、ニュースレター等で学術情報を共有し、内容の充実を図る
「全国環境再生医の会」、「全国レンジャーズの会」の立ち上げ	関係人口とその活動を全国的に広げ、会員または会費増につなげる。非会員（環境再生医・レンジャーズ）にも積極的に勧誘活動を行う

R5年度方針

- ニュースレターはHP 上にも掲載予定。会員ページを作成、ニュースレターの掲載をし、周知をはじめめる。紙媒体も継続して発行。【継続】
- 「全国環境再生医の会」、「全国レンジャーズの会」の立ち上げに向けて検討・募集準備。【継続】
- 普及啓発のために「自然環境復元学会」、「日本櫻学会」ほか関連学会との連携調整推進。【継続】。

R5年度計画

- 年3回（秋・冬・春号）ニュースレター発行、年1回（夏号）ニュースレター＋年次報告書発行。【継続】
- HP 上に会員ページ（パスワード設定あり）作成。【継続】
会員ページ開設準備
ニュースレターを順次掲載。（しばらくは紙媒体と並行活用、ML でも通知）。
- 会員内での「全国環境再生医の会」及び隊員内での「全国レンジャーズの会」への参加希望を募る告知方法（HP 等）を検討。【継続】
- 「日本櫻学会」との協働の実現。
- 公開講座（オンライン）の試行。

※平成4年度事業は、担当職員不在のため、「ニュースレター」以外の事業は実施されなかった。

令和5年度 活動予算書

(単位:円)

科目	令和4年度(実績)		令和5年度予算	
I. 経常収益				
1. 受取会費				
正会員受取会費	469,000		600,000	
賛助会員受取会費	1,039,000		910,000	
受取入会金	9,000		8,000	
受取会費 計		1,517,000		1,518,000
2. 受取寄付金				
受取寄付金	7,373,929		3,516,000	
受取寄付金 計		7,373,929		3,516,000
3. 受取助成金				
受取助成金	1,000,000		5,000,000	
受取補助金	4,589,845		0	
受取助成金等 計		5,589,845		5,000,000
4. 事業収益				
事業収益	5,190,000		6,101,000	
受託事業収益	2,847,000		2,250,000	
その他事業収益	501,000		500,000	
事業収益 計		8,538,000		8,851,000
5. その他収益				
受取利息	195		0	
雑収益	134,724		0	
その他収益 計		134,919		0
経常収益 計				
		23,153,693		18,885,000
II. 経常費用				
1. 事業費				
(1) 人件費				
給料 手当(事)	0		3,056,000	
賞 与(事)	0		0	
役員報酬(事)	0		0	
臨時雇賃金(事)	3,414,767		1,161,600	
通勤費(事)	78,120		138,392	
法定福利費(事)	36,444		376,937	
福利厚生費(事)	0		3,000	
人件費 計		3,529,331		4,735,929
(2) その他経費				
業務委託費	6,338,031		3,660,000	
諸謝金(事)	54,000		2,360,000	
印刷製本費(事)	78,090		151,000	
会議費(事)	0		31,000	
旅費交通費(事)	609,825		1,971,500	
車両費(事)	24,865		0	
リース料(事)	0		0	
車両燃費費(事)	0		80,000	
通信運搬費(事)	443,218		351,540	
消耗品費(事)	51,364		143,000	
消耗器具備品費(事)			20,000	
広告料(事)	6,380		1,050,000	
新聞図書費(事)				
水道光熱費(事)	0		0	
地代家賃	0		0	
賃借料(事)	0		0	

保 険 料(事)	33,804		100,000		
諸 会 費(事)	10,000		0		
接待交際費(事)	0		0		
租税 公課(事)	0		1,000		
研 修 費(事)	0		20,000		
支払手数料(事)	70,126		19,500		
支 払 利 息(事)	0		0		
雑 費(事)	0		2,800		
その他経費(事) 計		7,719,703		9,961,340	
事業費 計			11,249,034		14,697,269
2 管理費					
(1)人件費					
給料手当	0		0		
賞 与	0		0		
パート・アルバイト料	266,138		266,138		
通 勤 費	11,007		11,007		
法定福利費	6,425		6,425		
福利厚生費	1,231		1,231		
人件費 計		284,801		284,801	
(2)その他経費					
業務委託費	0		500,000		
諸 謝 金	0		0		
印刷製本費	8,340		70,000		
会 議 費	0		0		
旅費交通費	1,217		20,000		
車 両 費	0		3,000		
リース 料	10,205		33,000		
車両燃費費	0		0		
通信運搬費	56,283		100,000		
消耗品 費	32,789		50,000		
広 告 料	0		0		
水道光熱費	17,092		150,000		
地代 家賃	294,227		1,086,360		
賃 借 料	1,392		10,000		
委託手数料	1,650		15,000		
新聞図書費	824				
会計士報酬	44,550		275,000		
減価償却費	11,919				
保 険 料	636		0		
諸 会 費	9,563		33,000		
租税 公課	125,252		700,000		
支払手数料	18,110		120,000		
支 払 利 息	0		0		
雑 費	683		20,000		
その他経費計		634,732		3,185,360	
管理費 計			919,533	6,550,971	6,550,971
経常費用合計			16,596,430		21,248,240
当期一般正味財産増減額			6,557,263		▲ 2,363,240
経 常 外 収 益			0		0
法人税、住民税及び事業税			70,000		0
前期繰越一般正味財産額			21,531,654		28,018,917
次期繰越一般正味財産額			28,018,917		25,655,677

令和5年度事業費の内訳

勘定科目名称	1 環境教育及び環境人材の育成に係る活動	2 身近な自然環境の保全・復元・維持管理に係る活動	3 農山漁村の活性化及び環境保全型農業に係る活動	4 自然体験学習に係る活動	5 テキスト等の出版に係る活動	6 社会啓発や情報発信等に係る活動	7 自然環境の復元の学術的发展に貢献する活動	事業費合計	管理費	予算合計
《経常増減の部》										
【経常収益】										
【受取会費】										
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	600,000	600,000	
賛助会員受取会費	0	10,000	0	0	0	0	10,000	900,000	910,000	
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	8,000	8,000	
受取会費 計	0	10,000	0	0	0	0	10,000	1,508,000	1,518,000	
【受取寄付金】										
受取寄付金	16,000	2,000,000	0	0	0	1,200,000	3,216,000	300,000	3,516,000	
受取寄付金 計	16,000	2,000,000	0	0	0	1,200,000	3,216,000	300,000	3,516,000	
【受取助成金等】										
受取助成金	0	0	5,000,000	0	0	0	5,000,000	0	5,000,000	
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取助成金等 計	0	0	5,000,000	0	0	0	5,000,000	0	5,000,000	
【事業収益】										
事業収益	3,621,000	0	2,480,000	0	0	0	6,101,000	0	6,101,000	
受託事業収益	0	1,000,000	1,250,000	0	0	0	2,250,000	0	2,250,000	
その他事業収益	0	500,000	0	0	0	0	500,000	0	500,000	
事業収益 計	3,621,000	1,500,000	3,730,000	0	0	0	8,851,000	0	8,851,000	
【その他収益】										
受取 利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑 収 益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他収益 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常収益 計	3,637,000	3,510,000	8,730,000	0	0	1,200,000	17,077,000	1,808,000	18,885,000	
【経常費用】										
【事業費】										
(人件費)										
給料 手当	462,000	1,618,000	520,000	0	0	456,000	3,056,000	3,010,000	6,066,000	
賞 与	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時雇賃金	1,161,600	0	0	0	0	0	1,161,600	0	1,161,600	
通 勤 費	60,000	40,224	33,000	0	0	5,168	138,392	82,960	221,352	
法定福利費	69,300	239,100	0	0	0	68,537	376,937	262,651	639,588	
福利厚生費	3,000	0	0	0	0	0	3,000	10,000	13,000	
人件費計	1,755,900	1,897,324	553,000	0	0	529,705	4,735,929	3,365,611	8,101,540	
(その他経費)										
業務委託費	10,000	0	3,500,000	0	0	150,000	3,660,000	500,000	4,160,000	
諸 謝 金	480,000	680,000	1,200,000	0	0	0	2,360,000	0	2,360,000	
印刷製本費	16,000	10,000	50,000	0	0	75,000	151,000	70,000	221,000	
会 議 費	10,000	0	20,000	0	0	1,000	31,000	0	31,000	
旅費交通費	70,000	160,000	1,740,000	0	0	1,500	1,971,500	20,000	1,991,500	
車 両 費	0	0	0	0	0	0	0	3,000	3,000	
リース料	0	0	0	0	0	0	0	33,000	33,000	
車両燃費費	0	0	80,000	0	0	0	80,000	0	80,000	
通信運搬費	60,540	71,000	20,000	0	0	200,000	351,540	100,000	451,540	
消耗品費	33,000	50,000	60,000	0	0	0	143,000	50,000	193,000	
消耗器具備品費	20,000	0	0	0	0	0	20,000	0	20,000	
広 告 料	50,000	0	1,000,000	0	0	0	1,050,000	0	1,050,000	
水道光熱費	0	0	0	0	0	0	0	150,000	150,000	
地代 家賃	0	0	0	0	0	0	0	1,086,360	1,086,360	
賃 借 料	0	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000	
委託手数料	0	0	0	0	0	0	0	15,000	15,000	
会計士報酬	0	0	0	0	0	0	0	275,000	275,000	
保 険 料	0	20,000	80,000	0	0	0	100,000	0	100,000	
諸 会 費	0	0	0	0	0	0	0	33,000	33,000	
租税公課	0	0	1,000	0	0	0	1,000	700,000	701,000	
研 修 費	20,000	0	0	0	0	0	20,000	0	20,000	
支払手数料	4,500	6,000	3,000	0	0	6,000	19,500	120,000	139,500	
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支払 利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑 費	2,800	0	0	0	0	0	2,800	20,000	22,800	
その他経費計	776,840	997,000	7,754,000	0	0	433,500	9,961,340	3,185,360	13,146,700	
経常費用 計	2,532,740	2,894,324	8,307,000	0	0	963,205	14,697,269	6,550,971	21,248,240	
経常外費用 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	1,104,260	615,676	423,000	0	0	236,795	2,379,731	▲ 4,742,971	▲ 2,363,240	